

# 沖縄産業保健総合支援センター

## 令和7年度(後期)研修・セミナー予定表

沖縄産業保健総合支援センターでは、産業保健に関する基礎的、専門的、実践的な研修・セミナーを開催しています。

受講ご希望の方は、当センターホームページよりお申込みください。※受講は無料です。



↑↑↑  
当センターホームページ  
はこちらから

【対象者】事業主、産業保健看護職（保健師 看護師）、衛生管理者、人事労務担当者、安全衛生担当者、労働者

※働いている方を対象としています。

【その他】

- 研修形式は、オンライン形式と集合（対面）形式があります。お申込みの前に、ご確認ください。
- 申込締切：研修日前日13時（対面・オンライン）※状況により、早めに締め切る場合があります。
- 配布資料について
  - ・配布資料が無い場合もございますので、予めご了承ください。
  - ・オンライン研修の場合、配布資料がある場合のみ、研修日当日のお昼前後に当センターホームページに掲載いたします。
- お申込み後に、受講できなくなった場合は必ずご連絡ください。
  - ・キャンセルのご連絡：ホームページの「申込取消フォーム」又は お電話（098-859-6175）にてご連絡ください。
- お申込みの際にご入力いただきました個人情報は、本会における受講者名簿作成のために使用する他、当センターが行う研修・セミナーなどのご案内に使用させていただく場合があります。
- 台風などの自然災害発生時には、研修中止となる場合があります。最新の情報を当センターホームページにてご確認ください。

【研修会場】 沖縄産業支援センター 3階（那覇市宇小禄1831-1）

NO	日時	テーマ	内容	講師	オンライン/対面
1	10月 1日（水） 14:00-15:30	内科医が取り組む 産業メンタルヘルス	長時間労働面談、メンタルヘルス疾患からの復職支援に関する経験、コツを紹介したいと思います。  ※対象：事業主、人事労務担当者、衛生管理者等 (産業保健看護職の方向けは、12月3日（水）開催)	田名 毅 産業保健相談員 (産業医学)	オンライン
2	10月 8日（水） 14:00-15:30	管理職が気になる組織力向上の 為の部下育成の基本 ～動機づけと能力を高める マネジメントの整理～	労務管理を行う際に、管理者が求められるマネジメント、リーダーシップ。中でも今回は動機づけ理論などを材料にして、部下育成の視点で基本的な考え方をあらためて整理します。	加藤 浩二 産業保健相談員 (労働衛生関係法令)	310室
3	10月 14日（火） 14:00-15:30	LGBTQ・性の多様性 ～だれもが安心して働くことが できる職場づくりを目指して～	職場の多様性尊重は心理的安全性を向上させ、勤続意欲も高まると言われます。LGBTQ・性の多様性の基礎や当事者の困りごと等を知り、だれもがはたらきやすい職場づくりを目指しましょう。  ※沖縄県の取り組みもご紹介 「沖縄県性の多様性尊重宣言」、「沖縄県パートナーシップ・ファミリー制度（令和7年3月28日からスタート）」等	竹内 清文 NPO法人 レインボーハートokinawa 理事長	310室
4	10月 22日（水） 13:00-14:30	職場の外国人材に対する産業保健	少子高齢化が進行する我が国では労働力不足で困っている職場が多い。このような社会状況を背景に外国人材が差別されことなく安全・安心に働き、能力を発揮できるよう、職場で外国人を包摂していくために、最近の法令改正を踏まえた産業保健活動の在り方や方法について学んでいただく。	山本 和儀 産業保健相談員 (メンタルヘルス)	310室
5	10月 27日（月） 14:00-15:30	職場の発達障害	発達障害の特性理解に基づいた合理的配慮と対応の留意点	佐藤 恵美 産業保健相談員 (カウンセリング)	オンライン
6	10月 29日（水） 14:00-15:30	医療や介護の現場でのハラスメント (バイシエントハラスメント) 防止について	医療現場や介護施設あるいは訪問先でのハラスメント対策について、一般のパワハラとは違う事情を理解してその防止対策について説明します。医療関係者または介護関係者でなくても受講することをお勧めします。	大村 達治 沖縄産業保健総合支援センター 副所長	オンライン

NO	日時	テーマ	内容	講師	オンライン/対面
7		<p><b>【テーマ】</b> 「業務遂行能力に応じたメンタルヘルス不調者の復職支援（4回シリーズ）」</p> <p><b>【内容】</b> 従業員の療養開始時の「放置」や「医療任せ」を防ぐための実践型研修です。動画と“魔法のフレーズ”を活用し、現場で使える対応方法と復職支援のコツを学びます。メンタルヘルス不調者の円滑な復職をサポートする全4回シリーズ。著書『健康管理は従業員にまかせなさい』の講師陣による、全4回の特別プログラムです。</p> <p><b>【対象】</b> 人事労務担当者、産業保健看護職、衛生管理者、事業主、労働者等 ※原則4回通して参加できる方</p> <p><b>第1回</b> 事前動画の視聴 2025年10月1日（水）～ 11月20日（木）まで</p> <p><b>第2回</b> 2025年11月21日（金） 15:30-16:30 ※ハイブリッド形式 内容：事前動画視聴を踏まえての質疑等を中心とした内容 講師：高尾 総司（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野/産業医） 会場：沖縄産業支援センター3階 308室</p> <p><b>第3回</b> フォローアップ動画視聴 2025年12月1日（月）～ 2026年1月29日（木）まで 内容：11月21日の研修で「課題」としてピックアップしたテーマに関する事前視聴動画</p> <p><b>第4回</b> 2026年1月30日（金） 13:30-15:30 フォローアップオンライン研修 ※オンライン形式 内容：第3回の動画に対する振り返りと解説を講師陣がお答えします。全4回シリーズの集大成として、自社での実践につなげる最終回です。 講師：高尾 総司（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野/産業医） 前園 健司（前園総合法律事務所 代表弁護士） 森 悠太（株式会社Officed'Azur 代表取締役/社会保険労務士）</p>	<p><b>【研修動画視聴に関するご案内】</b></p> <p>第1回 事前動画、第3回フォローアップ動画の視聴について、</p> <p>・お申込みいただいた方には、後日研修動画のURLを申込時に登録いただいたメールアドレスにお送りします。</p> <p>・本研修動画は申込者様向けの限定公開となっております。</p> <p>動画視聴URLの第三者への提供はお控えください。</p>		
8	11月5日（水） 14:00-15:30	職場の化学物質管理（Ⅰ）	<p>① 化学物質の自律的管理の法改正の趣旨 ② 改正の具体的な内容 ③ 化学物質のリスクアセスメント等の事業者が実施すべき事項 ④ 健康障害防止のために工学的対策及び保護具について、基本的な事項について説明します。</p> <p>※対象：基本的な内容について学びたい方、まだ取り組みをしていない事業場の方</p>	管原 稔  (労働安全コンサルタント)	309室
9	11月5日（水） 16:00-17:30	職場の化学物質管理（Ⅱ）	<p>① 作業環境測定について ② SDS（安全データシート）の読み方（演習） ③ CREATE-SIMPLEを用いたリスクアセスメント（演習）</p> <p>※対象：基本的な内容について学びたい方、まだ取り組みをしていない事業場の方</p> <p>※準備していただくもの</p> <p>① パソコン ② 「CREATE-SIMPLE*最新版」をダウンロード *CREATE-SIMPLE：化学物質リスクアセスメントツール *「厚生労働省 職場のあんぜんサイト CREATE-SIMPLE」で検索 ③ 事業場で使っているSDSカード *なければ製品名のメモ又は写真、わからない場合は、講師が用意するSDSカードを使用</p>	狩俣 栄作  産業保健相談員 (労働衛生工学)	309室
10	11月6日（木） 13:30-16:30	「治療と仕事の両立支援」事例検討会及び交流会  ※メンタルヘルス不調者の職場復帰支援事例について	<p>治療と仕事の両立支援の事例を通して多職種での役割や支援方法を学び実践に活かしてみませんか。講演と事例検討（グループワーク）の後、参加者同士の交流会を行います。</p> <p>※対象：両立支援コーディネーター及び実務に関わることがある方</p>	瀬名波 耕二  (公認心理師)	310室
11	11月10日（月） 14:00-16:00	基本的傾聴技法（1）  ※引き続き、（2）も受講することが望ましいです。	<p>相談援助場面でよく用いられる基本的傾聴技法について、大学学部制レベル（公認心理師養成）で指導する内容を2回シリーズに凝縮して実践的にレクチャーします。</p>	赤嶺 遼太郎  (公認心理師)	306室
12	12月8日（月） 14:00-16:00	基本的傾聴技法（2）  ※内容的に（1）を受講していることが受講条件です。	<p>※対象：産業保健看護職（保健師・看護師） ※（1）（2）両方受講できる方</p>		
13	11月14日（金） 14:00-15:30	職員のうつ状態を評価する	<p>うつ状態は、職場で最も頻繁に対処しなければならないメンタルヘルス問題だが、その状態像は多様である。それらを評価して職場として適切な対応を取る方法について解説する。</p>	西尾 彰泰  産業保健相談員 (メンタルヘルス)	オンライン

NO	日時	テーマ	内容	講師	オンライン/対面
14	12月3日(水) 14:00-15:30	内科医が取り組む 産業メンタルヘルス	長時間労働面談、メンタルヘルス疾患からの復職支援に関する経験、 コツを紹介したいと思います。  ※対象：産業保健看護職（保健師・看護師）	田名 毅 産業保健相談員 (産業医学)	オンライン
15	12月15日(月) 14:00-15:30	職場における メンタルヘルスクエア(Ⅰ)  ～セルフケア、ラインケアとは～	一次予防メンタル不調の未然防止のための取り組み、二次予防メンタル不調者の 早期発見と適切な対応について説明します。  ※(Ⅰ)(Ⅱ)両方の受講をおすすめします。	大嶺 ひとみ (産業カウンセラー キャリアコンサルタント)	306室
16	12月15日(月) 15:45-17:15	職場における メンタルヘルスクエア(Ⅱ)	三次予防はメンタルヘルス不調によって休職した従業員の職場復帰支援のサポ ートや再発防止のための対策です。第1ステップから第5ステップまでの流れと、各ス テップごとに何をしたらいいかについて説明します。  ※(Ⅰ)(Ⅱ)両方の受講をおすすめします。	前里 久誌 (社会保険労務士)	306室
17	12月16日(火) 14:00-15:30	労働安全衛生法に基づく ねずみ昆虫等との付き合い方	職場でできる。 人の健康を損なう事態を生じさせるおそれのある「ねずみ、昆虫、その他の動物」。 法律の対象となる9種類に対する医薬品・医薬部外品薬剤使用防除法や物理 的防除法、環境的防除法、細菌等に対する消毒清掃を学ぶ。 ※実物機器類等の操作も説明。	大嶺 健太郎  (一社)沖縄県 ビルメンテナンス協会 講師	310室
18	R8 1月14日(水) 14:00-15:30	安全な職場づくりのために、 事業者が知っておきたいこと(Ⅱ)  ～職場巡視のポイント～	労働災害を防止する日頃実施している安全管理活動は多くありますが、そのう ち、「職場の巡視」は非常に貴重な活動です。不安全行動、不安全設備の発見 は、職場を巡視して把握できるものです。そこで、「職場巡視」のポイントの基本を 説明します。	菅原 稔 (労働安全コンサルタント)	310室
19	R8 1月28日(水) 14:00-15:30	いまさら聞けない？ 「労働関係法のポイント」	労働に関する法律、「労働基準法」、「労働契約法」、「労働安全衛生法」、 「労働時間等設定改善法」などを中心に説明します。	大村 達治 沖縄産業保健総合支援センター 副所長	310室
20	R8 2月4日(水) 14:00-15:30	交替制勤務の健康管理	夜勤等のシフトワークで生じる交代制勤務障害(SWD)は心身に悪影響をもた らす。SWDを含めた睡眠リズム障害の予防と対策について概説する。	普天間 国博 産業保健相談員 (メンタルヘルス)	オンライン
21	R8 2月6日(金) 14:00-15:30	メンタルヘルス不調者の 復職準備と復職後の職場環境・ 業務調整のポイント	メンタルヘルス不調者の職場復帰へ向けた復職準備や職場復帰に関する問題・ 悩み、復職後の職場環境への影響などについて、再発・再休職の予防や職場トラ ブルの防止の観点から、復職を希望する従業員との職場復帰の調整や職場の労 務管理を考えます。	比嘉 聡子 (社会保険労務士)	310室
22	R8 2月10日(火) 14:00-15:30	女性労働の現状から見てくるもの 「均等法施行40年を振り返り 働くことについて考える」	・男女雇用機会均等法施行後40年間に制定された女性労働に関する 法律の知識を学びます。 ・女性労働の現状を統計データなどから分析し、課題や解決策を考えます。 ・今後の働き方、先人たちの想いを次世代につなぐためのヒントを得ます。	松野 市子 (社会保険労務士)	310室
23	R8 2月18日(水) 14:00-15:30	衛生委員会(安全衛生委員会) の活性化	マンネリ化、形骸化の傾向にあると指摘される「衛生委員会」を効果的、効率 的に開催し、実効ある衛生管理活動に改善する手法を学んでいきましょう。	長濱 直次 (労働衛生コンサルタント)	310室
24	R8 2月26日(木) 15:00-16:30	職場の禁煙支援 加熱式タバコをどう扱うか	加熱式タバコが世に出て10年を迎えましたがその評価や対応に苦慮している例も 少なくありません。そこで、加熱式タバコ問題とニコチン補充療法の意義と実際を 考えてみたいと思います。	清水 隆裕 産業保健相談員 (産業医学)	オンライン

※追加研修がある場合は、ホームページでお知らせいたしますので、ご覧ください。

沖縄産業保健総合支援センター  
オンライン研修受講に関する留意事項

<事前準備> ※インターネット通信にかかる費用は、受講者負担となりますのでご了承ください。

(1) インターネットに接続できるPC等の端末、マイク、カメラ、スピーカー、メールアドレス。

<申し込み> 当センターホームページの申込フォームを送信後、「自動応答メール」にて以下の内容が受講者に届きます。

- (1) 招待リンク（研修参加URL） / ミーティングID / パスコード / 配布資料パスワード  
(2) **申込締切** **研修日前日 13時** ※状況により、早めに締め切ることがあります。

<配布資料について>

- (1) 配布資料がない場合もございますので、予めご了承ください。  
(2) 配布資料がある場合（研修受講の方に限り配布）  
**研修日当日のお昼前後**に当センターホームページ（申込をした研修の欄）に掲載いたしますので、印刷してご準備ください。  
配布資料の印刷後、データの保存はしないようご注意ください。

<当日> ※研修開始10分前から、入室のご案内をします。

- (1) ZOOM参加（表示）名：入室の際は、下記の表示方法（ひらがな）でご入室ください。  
※申込フォームに入力していただいた **ひらがな名** です。

**名字ひらがな + (名前の最初の文字) 例：沖縄 花子 → おきなわ(は)**

※申込者名簿にて、受講申込者ご本人確認をさせていただいた後、入室のご案内をしております。  
ご本人確認ができない場合は、ご案内に時間がかかる場合があります。

※**ご注意**：“申込者ではない名前”で表示されるケースがあるため、事前にご自身でZOOM上の登録名をご確認ください。  
例：「iPhone」、「PC-NO.1」、「・・・責任者」等

※**ZOOM表示名の変更が困難な方は**、当センターまでご連絡ください。TEL：098-859-6175

- (2) 受講時のWEBカメラについて  
受講に際し、なるべくWEBカメラをオンにしてご参加ください。  
グループワーク、事例検討会、交流会または講師からの要望がある場合は、必ずWEBカメラをオンの状態でご参加ください。

<禁止事項>

- (1) 研修資料の二次利用（無断でコピーを取り配布、SNSへの掲載等）  
(2) 研修参加URL, ミーティングID, パスコードの第三者との共有  
(3) 研修内容の撮影・録画・録音

(独) 労働者健康安全機構 沖縄産業保健総合支援センター

【住所】那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター 2階

【連絡先】TEL：098-859-6175 Mail:[sanpo47@okinawas.johas.go.jp](mailto:sanpo47@okinawas.johas.go.jp)

さんぽセンターおきなわ

検索

